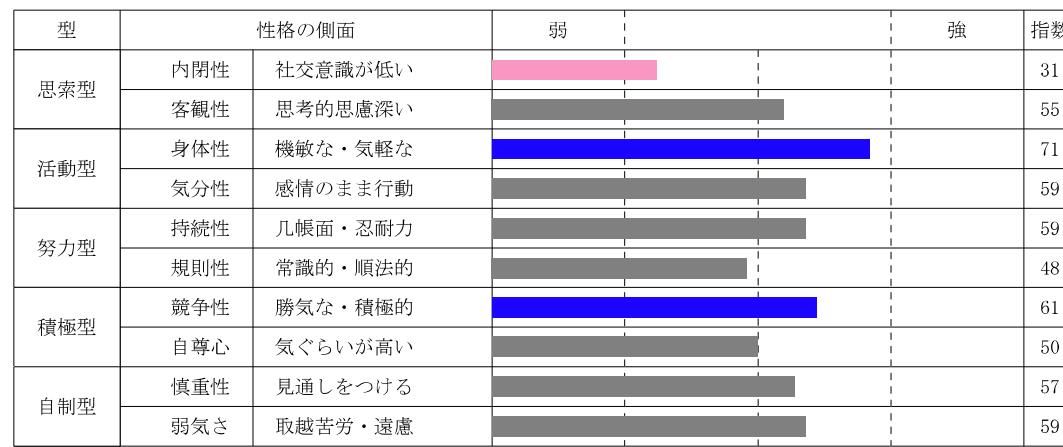


1 どういう性格・パーソナリティか



■この人の中心性格は「活動・身体性」および「積極・競争性」であるが、「活動・気分性」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

●「活動・身体性」及び「積極・競争性」の人のパーソナリティスケッチ

新しい環境にもすぐに適応できる力があり、抵抗なくしていくことができる。受身にならず積極的に体を動かして、物事を解決していくことができるが、もう少し慎重な計画性とチェック機能が欲しいところである。また、気分に周期性があり、調子に乗れば何事も早いが、気分が乗らないと何もしないという面がある。人間的には温かく、世話好きな面がみられ、周囲からは親しまれる。気に入った相手や物事に対しては、思惑や世間の常識にとらわれずに、良いと思ったことを素直に実行する傾向がある。また、目立ちたがりやであり、勝気な性格するために、競争する環境などの条件がそろうと思った以上の力を発揮することができる。そして、困難に遭遇したときは他にも働きかけ、外にうつてでる。やや、他罰的傾向がみられるが、独善的に自分だけが偉いといった思いあがりは少なく、他人との協調性もあり気遣いはみられる。自己主張が強く、ときに対人関係でギクシャクすることもあるが、人あたりの良さで局地的には回避することができる。

●もう一方の性格特性

内向的ではなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分が欠ける。

2 ストレス耐性



信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、およその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性



自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。
仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。

環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか



困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。

知的好奇心が旺盛で、新しい事や珍しい事を追い求める。
逆境に耐え、苦しいときも我慢づよくやり抜こうとする。
仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。
自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。
人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。

■この人は「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。
逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。